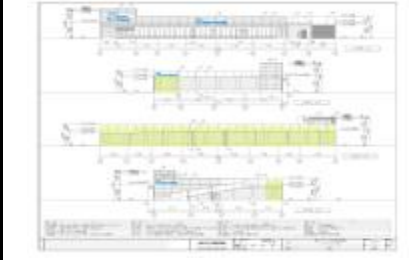


CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アクロスプラザ大東 新築工事	階数	地上2F
建設地	大東市氷野2丁目230番1及び230番	構造	S造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2016年4月26日
敷地面積	5,145 m ²	作成者	大和ハウス工業 藤井
建築面積	3,082 m ²	確認日	2016年4月28日
延床面積	2,999 m ²	確認者	大和ハウス工業 藤井



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 76%

③上記+②以外の 76%

④上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	建物内外へ配慮のなされた、地域住民の生活の基盤となるスーパーマーケットとして計画されている。	その他 0
Q1 室内環境	適切な量の断熱材の施行をしている。	Q2 サービス性能 階高のゆとり、空間の形状・自由さ等、高いスコアを獲得し、空間のゆとりを生み出している。
LR1 エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化を図っており、高いスコアを獲得している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化につとめている。
	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用。 LGS+仕上げによる、部材の再利用可能性向上。 断熱材にグラスウールを使用し、汚染物質含有材料を回避。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率76%に削減。 広告物照明の屋外への光害に配慮した計画。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0023

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)アクロスプラザ大東 新築工事(スーパーマーケット棟)					
	建設地	大東市氷野2丁目230番1及び230番2の各一部,230番3,304番1,305番1					
	用途/区分	物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.9	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	4.4	4			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						5.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.7
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		建物外皮の熱負荷抑制。および設備システムの高効率化に配慮。						